

# 7月15日（土） P T A主催「親子防災教室」

## ～地域との連携を深めながら～

7月15日（土）にP T A主催の親子防災教室を開催しました。当日は各学部や自立学級に分かれ、親子で防災・減災の意識を高める活動を行いました。

小学部は、防災バッグ点検や寝袋体験、被災通路の避難体験等を行いました。避難体験では、物が氾濫して通りづらくなった通路を通りながら、家具の転倒対策を考えたり、家庭にいる時の避難の仕方に不安を覚えたりする保護者がみられました。

中学部は、防災オリエンテーリングを行いました。段ボール板で区画を作ったスペースでの避難所体験、起震車体験、学校近隣の本巢市徳山団地自治会による災害時用炊き出し食（旧、揖斐郡徳山村に伝わる地獄うどん）の試食体験を回りました。試食体験では、順番に並んでうどんをもらったり、おかわりをもらいに行ったりして、地域の方と自然に接する良い機会となりました。

高等部は、二つのグループに分かれて活動しました。一つ目のグループは岐阜赤十字奉仕団本巢支部や本巢市福祉敬愛課のご指導による炊き出し体験を行いました。二つ目のグループは、給水体験とフリーズドライの商品や缶詰を使ってポテトサラダ作りをしました。今年度は、実際に学校が避難所になったときに、みんなで協力して避難所運営をすることを想定し、配給についても生徒や保護者の手で行いました。

自立学級では、小学部・中学部・高等部が集まり、被災通路の避難体験や岐阜南ライオンズクラブから寄贈していただいた簡易担架（肩掛け式）を使った避難体験を行いました。児童生徒を搬送する際には、保護者から、思ったよりも子どもが落ち着いており、運ぶ側も重さをあまり感じずに搬送できて良かったとの感想が聞かれました。

多くの地域の関係機関・団体の理解や協力を得て、児童生徒や保護者の防災意識が高まり、いざという時に少しでも安心安全につながる活動をすることができた一日でした。ご協力いただいた、岐阜北消防署黒野分署様、本巢市徳山団地自治会様、日本赤十字本巢支部奉仕団様、本巢市役所福祉敬愛課担当者様、岐阜南ライオンズクラブ様、お忙しいところ、本当にありがとうございました。

○地獄うどんの試食体験（中学部）



○簡易担架を使った避難体験（自立学級）



○段ボール板で区画を作ったスペースでの避難所体験（中学部）



○岐阜赤十字奉仕団本巣支部のご指導による炊き出し（高等部）



○生徒・保護者による炊き出しの配給（高等部）



○被災通路の避難体験（小学部、自立学級）

